事業名	RS ウイルスワクチン定期予防接種

セールスポイント	・RSウイルスワクチン定期接種の実施にあたり、対象者約2,300人に予診票を送付し、23区内指定医療機関(予定)での接種を実施する ・定期接種 A 類指定のため、区民の接種費用は全額公費負担となる (接種費35, 000円程度(予定・見込み))

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

・RSウイルスは、2歳までにほぼ100%の小児が1度は感染し、何度も感染と発病を繰り返す呼吸器感染症だが、初回感染時には、より重症化リスクがある。

・母子免疫による新生児・乳児の予防を目的とするRSウイルスワクチンが薬事承認され、国の厚生科学審議会において、国内の安全性・有効性に係る知見について継続検討されていた。

・豊島区医師会及び令和7年第4回区議会定例会においてRSウイルスワクチン助成への要望がだされた。

・令和7年11月、厚生労働省主催による予防接種自治体向け説明会において、令和8年4月1日より妊娠28週から36週の妊婦を対象に定期接種(A 類)化の方針が示された。

2. 目的

・乳幼児の呼吸器感染症の重症化防止

3. 内容

・RSウイルスワクチン定期接種の対象者(接種日時点で豊島区に住民登録のある妊娠 28 週から36週の妊婦)に対し、接種費用の全額を助成する。

4. 今後のスケジュール

・対象者には、妊娠28週になる月の前月上旬に予診票を自宅へ郵送する。

令和8年4月時点	予診票の発送時期
妊娠28～36週の方	令和8年3月末に予診票を自宅へ郵送
妊娠28週未満の方	妊娠28週に至る月の前月上旬に予診票を自宅へ郵送

事 業 費	8,429万5千円	うち新拡分事業費	8,429万5千円